

| | | | | | | | |
|---|--|-----|------|---------|--|-------|--------------------------------------|
| 授業科目(ナンバリング) | 地 誌 (CA215) | | | 担当教員 | 小島 大輔 | | |
| 展開方法 | 講義 | 単位数 | 1 単位 | 開講年次・時期 | 2 年・後期 | 必修・選択 | 必修 |
| 授 業 の ね ら い | | | | | | | アクティブ ラーニング の 類 型 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・地誌学の基礎的な知識や地誌学で用いられる地理的技能を修得し、国際社会、及び社会生活における様々な課題に適用することができる。 ・地誌学の学びを通して人間の多様性について理解し、共生社会を実現するための考えを述べるができる。 | | | | | | | ② |
| ホスピタリティ を構成する能力 | 学生の授業における到達目標 | | | | 評価手段・ 方法 | | 評価 比率 |
| 専門力 | (1)地理学と地誌学の違いを説明できる。 (2)地域の概念の使用方法を類別できる。 (3)地誌学の基礎的な方法論を区別することができる。 (4)地域構成の大観、地形図の読図、観察・野外調査・文献調査の基礎的な作業ができる。 | | | | (1)定期試験 (2)定期試験 (3)定期試験 (4)授業での取り組み | | (1)10% (2)25% (3)25% (4)20% |
| 情報収集、分析力 | | | | | | | |
| コミュニケーション力 | | | | | | | |
| 協働・課題解決力 | | | | | | | |
| 多様性理解力 | (5)地誌的考察方法を用いて、地域区分について自らの考えを述べるができる。 (6)地誌的考察方法を用いて、地域的特色、地域・地球的課題について自らの考えを述べるができる。 | | | | (5)授業での取り組み (6)授業での取り組み | | (5)10% (6)10% |
| 出 席 | | | | | 受験要件 | | |
| 合 計 | | | | | 100% | | |
| 評価基準及び評価手段・方法の補足説明 | | | | | | | |
| <p>(1)定期試験では、地理学の学問体系を用いて地理学と地誌学の違いを論理的に説明できるかを評価する。</p> <p>(2)定期試験では、様々な地域の概念について、対となる関係を身につけているかについて評価する。</p> <p>(3)定期試験では、代表的な地誌学の方法論についてその違いを理解しているかを評価する。</p> <p>(4)授業での取り組みでは、作業への取り組み度合から評価する。 作業後に正答例を示し、地理的技能の確認を促すことがある。</p> <p>(5)授業での取り組みでは、地誌的考察方法の使用の有無および記述の具体性・独自性などから評価する。</p> <p>(6)授業での取り組みでは、地誌的考察方法の使用の有無および記述の具体性・独自性などから評価する。</p> <p>授業時に出された回答は、受講者自身の考えを相対化できるように、集計可能なものはその結果を提示する。また、適宜匿名で紹介し、担当教員よりコメントを加えることがある。</p> | | | | | | | |
| 授 業 の 概 要 | | | | | | | |
| <p>地誌とは、特定の地域の自然条件、社会経済的条件およびそれらと人間との関係から、総合的かつ科学的に地域の特徴を明らかにしたものである。まず、地誌学の歴史、方法論、地域の概念、地域区分、地域構造などの地誌的考察の基礎について学ぶ。次に、様々な地域構成の大観方法、地形図の読図から地誌学における地理的技能を学び、地誌的考察を実践する能力を身に付ける。そして、地誌的考察方法を用いて、地域・地球的課題について自らの考えを述べることを実践する。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p> | | | | | | | |
| 教 科 書 ・ 参 考 書 | | | | | | | |
| <p>教科書：特に指定しない。</p> <p>参考書：授業時に紹介するので、詳細を知りたい場合や知識を深めたい場合は参照のこと。</p> <p>指定図書：矢ヶ崎典隆・加賀美雅弘・古田悦造編：(2007)『地誌学概論』朝倉書店。</p> | | | | | | | |
| 授業外における学修及び学生に期待すること | | | | | | | |
| 地誌学の見方・考え方を身につけて、地域の課題を見出す力を修得してほしい。 | | | | | | | |

| 回 | テーマ | 授業の内容 | 予習・復習 |
|----|-----------------------------------|--|--|
| 1 | イントロダクション | 地誌学と地理学の関係性から、地域的特色、地誌的考察、地域的課題の概要を学ぶ。 | 復習：シラバスの再読、イントロダクションの配布資料からキーワードを抽出して記入。 |
| 2 | 地誌的考察の基礎1 —地誌学史— | 地誌学と地理学の学術的な展開について概観する。 | 復習：地誌的考察の基礎1の配布資料からキーワードを抽出して記入。 |
| 3 | 地誌的考察の基礎2 —地誌学の方法論— | 地誌学の代表的な方法論を学ぶ。 | 復習：地誌的考察の基礎2の配布資料からキーワードを抽出して記入。 |
| 4 | 地誌的考察の基礎3 —地域概念— | 地様々な地域概念について学ぶ。 | 復習：地誌的考察の基礎3の配布資料からキーワードを抽出して記入。 |
| 5 | 地誌的考察の基礎4 —地域区分の意義— | 地域区分の方法について学び、その問題点について考える。 | 復習：地誌的考察の基礎4の配布資料からキーワードを抽出して記入。 |
| 6 | 地誌的考察の基礎5 —地域構造— | 地域構造という視点から、地域の構造と変容の捉え方を学ぶ。 | 復習：地誌的考察の基礎5の配布資料からキーワードを抽出して記入。 |
| 7 | 地誌学における地理的技能1 —メンタルマップ・地図・地球儀— | メンタルマップ・地図・地球儀など地域構成を大観する方法の違いを学ぶ。 | 復習：地誌学における地理的技能1の配布資料からキーワードを抽出して記入。 |
| 8 | 地誌学における地理的技能2 —地図が創る世界観— | 地図が創り上げた世界観とその歴史を概観し、地域構成を大観する際の注意点について考える。 | 復習：地誌学における地理的技能2の配布資料からキーワードを抽出して記入。 |
| 9 | 地誌学における地理的技能3 —地形図の読図— | 地形図に関する基礎的事項の学び、地形図の読図作業を通じて、地形図から地域的特色を見出す視点を学ぶ。 | 復習：地誌学における地理的技能3の配布資料からキーワードを抽出して記入。 |
| 10 | 地誌学における地理的技能4 —観察、野外調査、文献調査— | 観察、野外調査、文献調査の視点と方法および情報の地理的なまとめ方の基礎を学ぶ。 | 復習：地誌学における地理的技能4の配布資料からキーワードを抽出して記入。 |
| 11 | 地誌学と地域・地球的課題1 —歴史的背景と地域的特色— | カナダの国家成立過程を事例に、歴史的背景に留意した地域的特色と課題の追究方法について学ぶ。 | 復習：地誌学と地域・地球的課題1の配布資料からキーワードを抽出して記入。 |
| 12 | 地誌学と地域・地球的課題2 —中心市街地の構造変容— | 下館市における歴史的建造物保存および呼子における朝市の存立基盤を事例に、中心市街地の構造変容について考える。 | 復習：地誌学と地域・地球的課題2の配布資料からキーワードを抽出して記入。 |
| 13 | 地誌学と地域・地球的課題3 —観光による地域構造の変容— | リオデジャネイロのファヴェーラおよび山谷におけるインバウンド観光客の受け入れを事例に、観光による地域構造の変容について考える。 | 復習：地誌学と地域・地球的課題3の配布資料からキーワードを抽出して記入。 |
| 14 | 地誌学と地域・地球的課題4 —地域的特色と観光・まちづくり— | 下北沢におけるポピュラー音楽およびソルトスプリング島におけるサスティナブル・ツーリズムを事例に、地域的特色が観光・まちづくりに与える影響について考える。 | 復習：地誌学と地域・地球的課題4の配布資料からキーワードを抽出して記入。 |
| 15 | まとめ | 授業全体のまとめを行い、地誌学の見方・考え方の意義および地域の課題について考える。 | 復習：これまでの講義資料の整理、キーワード索引の作成。 |
| 16 | 定期試験 | | |